令和7年10月17日 課名 商工労働局雇用労働政策課 担当者 課長 倉田 内 線 3423

「令和7年度広島県職場環境実態調査」の結果について

1 要旨・目的

県内事業所の職場環境の整備状況を把握し、誰もが働きやすい環境の整備等の施策の基礎資料とする。

2 現状・背景

「安心►誇り►挑戦 ひろしまビジョン」や「わたしらしい生き方応援プランひろしま」の成果指標の進捗把握などに活用されている。

3 調査概要

調査対象	○県内に本社又は本店を有する常用雇用者数 10 人以上の事業所 2,500 事業所 ※有効回答数(回答率) 1,017 事業所(40.7%)
調査基準日	○令和7年6月1日

4 主な調査結果

工艺時五代								
I 女性の就業環境	○管理職のうち女性が占める割合 (本編P6)・管理職のうち女性が占める割合は 16.6%で、前年度(17.4%)をやや下回ったが、ここ5年間を見ると、概ね17%前後で推移している。							
Ⅱ ワーク・ライフ・	○育児休業取得率 (本編P11、12)・育児休業の取得率は、女性 98.5%、男性 53.8%となっている。男性の育児休業取得率については、5年前(18.2%)に比べると着実に上昇している。							
バランス		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度		
	女性の育児休業取得率	98.1%	97.3%	97. 2%	99.1%	98.5%		
	男性の育児休業取得率	18.2%	24.0%	33.1%	46.2%	53.8%		
Ⅲ 働き方改革	○年次有給休暇の取得状況 (本編P19) ・年次有給休暇の一人当たりの取得率は65.8%で、5年前(56.5%)から見ても、毎年少しずつ上昇している。							
		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度		
	年次有給休暇の取得率	56. 5%	59.6%	64.6%	65.4%	65.8%		
Ⅳ ハラスメント対策	 マハラ・パワハラ対策の有無 (本編P28、29) ・セクハラ・パワハラ対策の有無について、「有」と回答した割合は、セクハラ 65.9%、パワハラ 66.8%で、前年度(セクハラ 60.6%、パワハラ 61.6%) よりも上昇している。 ・「有」と回答した対策内容は、「就業規則等による方針の明文化」や「相談窓口の設置」等が多い。 							
Ⅴ 雇用	 ○障害者の雇用状況(本編P36) ・障害者の雇用状況について、「雇用している」と回答した割合は30.3%で、前年度(32.5%)よりも低下している。 ○高年齢者の就業確保措置の取組状況(本編P37) ・高年齢者の就業確保措置の取組状況について、「すでに取り組んでいる」と回答した割合は59.7%で、前年度(57.4%)よりも上昇している。 ・「すでに取り組んでいる」と回答した取組内容は、「70歳までの継続雇用制度(再雇用制度・勤務延長制度)の導入」が最も多い。 							

※ 詳細は、別紙「令和7年度広島県職場環境実態調査結果」を参照

5 結果の公表

広島県ホームページで公表(10/17)する。

(https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/68/1301988336586.html)